

令和2年9月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,460	182,838	182,600	182,749	238	89
2 調定水量	m ³	713,522	3,953,843	3,904,800	3,940,002	49,043	13,841
3 調定料金(税抜)	円	187,753,194	1,058,873,619	1,044,000,000	1,051,476,760	14,873,619	7,396,859
4 口振加入件数	件	25,148	150,772	—	150,852	—	△ 80

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,362	109,840	109,820	107,942	20	1,898
6 調定水量	m ³	425,858	2,373,104	2,306,500	2,309,057	66,604	64,047
7 調定料金(税抜)	円	66,739,825	374,173,221	362,608,000	364,151,333	11,565,221	10,021,888

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	77,429	—	78,822	△ 1,393
9 給水件数	件	30,290	—	30,264	26
10 開栓処理件数	件	170	1,582	1,581	1
11 閉栓処理件数	件	209	1,441	1,485	△ 44
12 給水工事設計審査	件	40	343	412	△ 69
13 給水工事竣工検査	件	62	484	449	35
14 経年メーター交換	件	449	2,841	3,499	△ 658
15 メーター口径変更	件	6	27	32	△ 5
16 月末停止件数	件	1	108	111	△ 3

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
17 排水設備工事確認申請	件	24	192	285	△ 93
18 排水設備工事完了検査	件	24	180	232	△ 52

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
19 当年度分	217,665,302円	81.31%	210,772,896円	81.44%
20 過年度分	4,798,302円	97.48%	4,989,794円	97.36%
21 計	222,463,604円	-	215,762,690円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
22 当年度分	85,229,971円	79.29%	80,309,723円	79.57%
23 過年度分	1,011,466円	98.69%	1,129,706円	98.46%
24 計	86,241,437円	-	81,439,429円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
25 当年度分	10,004,160円	76.72%	8,044,800円	80.82%
26 過年度分	2,653,400円	19.65%	3,639,430円	11.37%
27 計	12,657,560円	-	11,684,230円	-

8 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
入札件数	21	23 / 100	13	15 / 56	3	3 / 16	4	4 / 10	1	1 / 18	0	0 / 0
契約締結	一般	6	21	6	21	0	0	0	0	0	0	0
	指名	9	61	3	29	3	16	3	6	0	10	0
	随契	6	18	4	6	0	0	1	4	1	8	0
	合計	21	100	13	56	3	16	4	10	1	18	0

《中止 当月 3件/累計 7件》《不調 当月 2件/累計 2件》《取消 当月 0件/累計 1件》《未契約 0件》

1. 9月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は187,753千円(税抜)で、前月期に比べて13,054千円の増で、対前年同月比では5,424千円の増となり、営業収益は207,124千円、営業外収益は事務手数料4,897千円を含む5,003千円、特別利益は164千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費、修繕費及び業務委託料など76,251千円、営業外費用として企業債利息58,871千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金498千円、加入金836千円を執行しました。

支出は、建設改良費としてメーター購入、調査設計費及び事務費25,765千円、企業債償還金として211,245千円を執行しました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に2,286千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は66,739千円(税抜)で、前月期に比べて4,446千円の増で、対前年同月比では2,867千円の増となり、営業収益は83,394千円、営業外収益は他会計補助金の422,000千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や業務委託料など67,658千円、営業外費用として企業債償還に伴う利息168,687千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、他会計出資金268,000千円を執行しました。

支出は、汚水管渠築造工事前払金、調査設計費や職員給与費などを含む建設改良費27,583千円及び企業債償還金として725,112千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市議会定例会9月定期議会について

9月4日(金)に令和2年登米市議会定例会9月定期議会が開会し、上下水道部では、「令和元年度登米市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について」「令和元年度登米市水道事業会計決算認定について」「令和元年度登米市水道事業会計補正予算(第1号)」の3件を提案しました。

決算については、決算審査特別委員会において認定され、その後の本会議(9月28日)でも認定されました。補正予算についても原案通り可決されました。

(2) 総務企画常任委員会について

9月9日(水)及び14日(月)に総務企画常任委員会が開催されました。9日の委員会では水道事業会計補正予算及び令和元年度に放棄した債権について説明を行いました。

補正予算は、将来の水需要を踏まえた施設のダウンサイジングを行い、経営基盤の強化を図るため、施設統廃合計画策定業務を追加するものです。また、本年度予定していた保呂羽浄水場再構築事業事業者選定支援業務を来年度へ延期するため減額を行ったものです。債権放棄については、令和元年度は46件で88,675円となりました。

14日には令和元年度下水道事業特別会計決算認定及び水道事業決算認定について説明を行いました。下水道事業特別会計決算は、公営企業会計への移行に伴い、3月末日をもって打切決算としており、打切決算時の未収金、未払金は、公営企業会計となった下水道事業会計に引き継いでいます。水道事業会計は、当年度純利益2,124万円を計上となりました。

令和2年9月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	822,654	4,974,951	4,796,110	4,996,873	178,841	△ 21,922
総配水量	760,735	4,619,054	4,465,580	4,646,532	153,474	△ 27,478
1 有効水量	768,535	4,332,702	4,231,830	4,254,255	100,872	78,447
(1) 有収水量	718,052	3,983,489	3,934,000	3,966,429	49,489	17,060
(2) 無収水量	50,483	349,213	297,830	287,826	51,383	61,387
2 無効水量	△ 7,800	286,352	233,750	392,277	52,602	△ 105,925
(1) 漏水量	△ 8,044	285,362	230,000	390,161	55,362	△ 104,799
(2) その他無効水量	244	990	3,750	2,116	△ 2,760	△ 1,126
3 有収率	94.39%	86.24%	88.10%	85.36%	-1.86%	0.88%

※ 当月期の最大配水量は、8日（火）に記録した【27,046m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	6,160	0	0	0	0	6,160	0.0%
浄水施設整備事業	10	40,370	2	21,736	0	0	18,634	53.8%
配給水施設整備事業	60	1,165,720	27	465,786	10	81,949	617,985	47.0%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 石越浄水場「大巻取水場」堆積土砂除去作業の実施

9月9日（水）石越浄水場大巻取水場において、登米市水道事業浄水施設等管理運営業務受託者（明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体）により、取水樋管（堤防を貫通して設置した暗渠）内と接合井（河川敷に設置したピット）に堆積した土砂約6m³の除去作業を実施しました。この作業は、河川に堆積した土砂が樋管に流入し取水の阻害となることを未然に防止し、安定した取水を図ることと施設の点検を目的として行うものです。作業は年2回実施します。



【接合井清掃状況】

2 錦織浄水場水質計器点検の実施

9月14日（月）錦織浄水場において、登米市水道事業浄水施設等管理運営業務受託者（明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体）により、水質計器（原水濁度計・膜ろ過濁度計）の点検を実施しました。水質計器は、水処理の制御にも連動していることから、安定した運転のため、年1回定期的に保守点検を行い、併せて消耗部品の交換も実施しています。



【水質計器点検状況】

◎ 漏水調査結果について

施設	件数	漏水量 (m ³ /h)
配水管	16	58.332
付属施設	0	0.000
給水装置	35	34.913
計	51	93.245

【漏水調査結果：4月～9月（累計）】
 ※参考：漏水量削減効果（金額換算）
 約625,327円/日当たり
 算定：R1年度給水原価 278.89円
 累計漏水量 93.245m³/h
 93.245m³/h×24h×278.89円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D) 対前年度 (B)-(C)	備考
特定環境保全公共下水道	56,388	339,235	316,764	22,471	3 処理場
米谷・錦織処理区	12,406	76,872	74,944	1,928	
豊里処理区	30,742	185,010	171,073	13,937	
津山処理区	13,240	77,353	70,747	6,606	
流域関連特定環境保全公共下水道	13,462	80,144	74,661	5,483	
農業集落排水	115,982	720,734	693,869	26,865	24 処理場
迫地区	9,452	56,934	54,818	2,116	
東和地区	2,943	18,444	17,639	805	
中田地区	31,615	192,378	188,005	4,373	
豊里地区	2,095	12,886	12,672	214	
米山地区	49,360	318,378	299,859	18,519	
南方地区	20,517	121,714	120,876	838	
浄化槽（特地・個排）	43,887	245,256	227,546	17,710	1,805 基
合計	490,661	3,008,774	2,933,489	75,285	

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	13	641,085	6	143,685	2	20,189	477,211	25.6%
処理施設整備事業	6	382,021	5	306,050	1	12,077	63,894	83.3%
浄化槽整備事業	80	124,382	38	16,653	20	34,788	72,941	41.4%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 汚水管渠工事完成及び着手

中田町石森地区及び登米町寺池目子待井地区の汚水管渠築造工事が完成しました。中田町石森地区においては、開削工法による管路（施工延長143m）、マンホール（1基）及び小型マンホール（1基）を整備し、登米町寺池目子待井地区は、開削工法による管路（施工延長44.9m）及び小型マンホール（3基）を整備しました。また、中田町宝江新井田地区において、汚水管渠築造工事（27工区及び28工区）を着手しました。工事完了は令和3年3月を予定しています。



【中田町石森地区汚水管渠築造工事状況】

2 日本下水道事業団と建設工事に係る協定を締結

9月25日（金）大関浄化センター（東和町）の設備更新工事に関して、地方共同法人日本下水道事業団と建設工事に係る協定を締結しました。この協定は、登米市公共下水道ストックマネジメント基本計画に基づき、今年度実施する大関浄化センターの機械・電気設備更新工事を日本下水道事業団に委託するものです。

○浄化槽整備事業受付状況

(9月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	58	22